

令和4年度地域スポーツ指導者養成事業（防府地区）

「ほうふキッズACP」報告書

1 ねらい

- ① 幼児期からの運動遊びを指導できる人材としての地域スポーツ指導者を養成し、地域でのスポーツ活動の推進を図る。
- ② 運動遊びを手段として、スポーツや運動が好きな子どもの増加を図るとともに、日常的に運動する習慣形成を図る。

2 主催

公益財団法人山口県体育協会

3 共催 地域スポーツクラブ防府

4 後援 防府市

5 対象

- ・子ども（小学3年以下の児童と幼児）
- ・スタッフ（地域スポーツ指導者・スポーツ少年団指導者及び育成母集団）

6 地域スポーツ指導者の役割

- 地域の子どものスポーツや運動に参加できる場を創出するために、ACPの指導技術を学ぶ。
- ACP普及講習会・講師講習会への参加

7 ACP指導者

- ACP講師 石川健一（ACP講師） 松原真奈美（ACP講師）
和田康夫（県体協）

8 令和4年度の取組

新型コロナウイルス感染対策のために、昨年度は施設がほとんど使えなかったが、今年度はようやく予定していた回数を行うことができた。チラシは、会場となった牟礼地区近隣の小学校・幼稚園・保育園（所）とし、約2700枚を配付した。

(1) 参加者

参加申し込み人数は、以下のようになり、令和3年度に比べて、倍近い参加があった。合計延べ人数は、268人となった。



ほうふキッズACP 2022

地域の子どもたちが、幼児期からいるな運動やスポーツを体験できるようにACP（アクティブ・チャイルド・プログラム）を実施します。親子でも参加できます。一緒に楽しく体を動かしませんか？ ACPは、日本スポーツ協会によって開催されているプログラムです。楽しみながら体を動かすと、将来的にスポーツすることが大好きに、併せて、健康や体力・社会性を育むことにつながります。

新型コロナウイルス感染拡大対応のため、開催日を変更することがあります。その場合は、ホームページに掲載いたします。

第1回ほうふキッズACPの期日・場所

○期日 令和4年**5月21日(土)** 9時30分～11時
○場所 防府市立牟礼小学校体育館

○年間開催(10回) 予定(9:30～11:00)
5/21(土) 6/18(土) 7/16(土) 9/17(土) 10/15(土)
11/26(土) 12/17(土) 1/14(土) 2/18(土) 3/18(土)

参加できる人・子どもだけでも、親子でも、どなたでも
□ 幼児(4歳以上とします。できれば、保護者同伴で)
□ 小学校の児童(原則、小学3年生以下) ロスポーツや運動に関心のある皆様

□ 指導者 (公財)日本スポーツ協会公認 ACP講師講習会修了者
□ 費用 一人年間**1,000円(保険料として)**※参加された日に徴収します。
□ 準備する物 **マスク着用・換気の上**運動ができる支度で、体育館シューズ、水筒やタオルなどを用意してください。

下のQRコードからお申し込みください。
(公財)山口県体育協会のホームページからでも可能です

スタッフ募集
この活動に賛同され、子どもの運動遊びに興味をもたれた方を随時募集しています。
まずは、お気軽に見学してください。

体協ホームページ   申し込みフォーム

主催：(公財)山口県体育協会 主管：総合型スポーツクラブ防府 後援：防府市
お問い合わせ先 (公財)山口県体育協会生涯スポーツグループ (和田康夫)
TEL 083-933-4697
和田康夫 TEL 0984571-8915 石川健一 TEL 0988369-0035

保護者は、常に20人近く参加、参観しており、アンケート結果からもわかるように、ACPや運動遊びへの関心の高まりを感じることができた。

開催日	5/21	6/18	7/16	9/17	10/15	11/26	12/17	1/14	2/18	3/18
参加者数	39	39	29	29	31	19	19	24	22	17

(2) 内容



△ ムカデドッジ



△ ひよこの闘い

ACP の内容 (運動名)

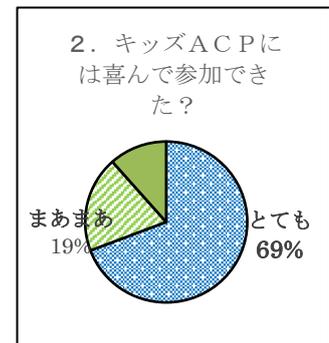
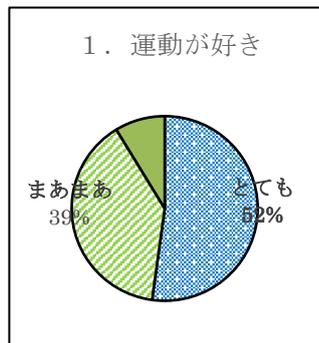
実施日	アイスブレーキング	主 運 動	ストレッチ クローキング
5/21	○お料理づくり ○アンケート ○体ジャンケン	○新聞紙 ・新聞紙のり ・新聞紙ボールで ○宅配便	○だるまさんが○○ ○動物ストレッチ
6/18	○ロコモチェック ○いうこと一緒 やること一緒	○いろいろ歩き ○ひよこの闘い ○魚とり	○だるまさんが○○ ○動物ストレッチ
7/16	○グリコジャンケン	○ゲージャンケン ○ボール集め ○風船を使って	○だるまさんが○○ ○動物ストレッチ
9/17	○進化ジャンケン ○言うこと一緒 やること一緒	○赤ずきんジャンケン ○ボール集め ○新聞紙ボールサッカー	○動物ストレッチ
10/15	○体ジャンケン ○ヒップウォーク	○レジ袋で ○ボール集め ○ドカンジャンケン	○動物ストレッチ

11/26	○いろいろ歩き ○進化ジャンケン	○さかなとり ○宅配便 ○長縄遊び	○だるまさんが○○ ○動物ストレッチ
12/17	○トントんクリスマス ○おーちたおちた	○風船遊び ○宇宙人鬼 ○長縄遊び ○サンタリレー	○しっぽとり ○動物ストレッチ
1/14	○グリコジャンケン	○長縄遊び ○新聞紙ボールで ○宅配便	○だるまさんが○○ ○動物ストレッチ
2/18	○いろいろ歩き	○タイミングジャンプ ○長縄遊び ○軍手ミントン ○新聞紙サッカー	○だるまさんが○○
3/18	○グリコジャンケン	○さかなとり ○新聞紙ボール ○ムカデドッジ	○大根抜き ○だるまさんが○○

9 保護者アンケート

(1) 子どもの運動状況

「お子さんは運動が好きですか？」の問いでは、「とても」は半数であったが、「喜んで参加したか？」の問いに対して、約70%の保護者が「とても喜んで」と回答した。



(2) 家庭でのACP

家庭での遊びの効果については、右のようなグラフの結果になった。

自由記述に次のような感想が寄せられた。

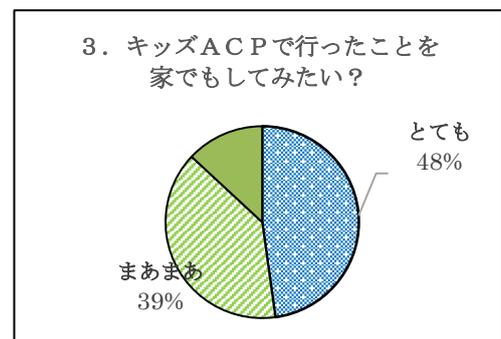
保護者の感想から

○家にある物を使って、おもちゃを作って遊ぶようになり、発想力がつくのでもいいなと思った。

○知らなかった遊びができて、子どもが覚えて家でもやってみたりして、とても楽しんでいた。

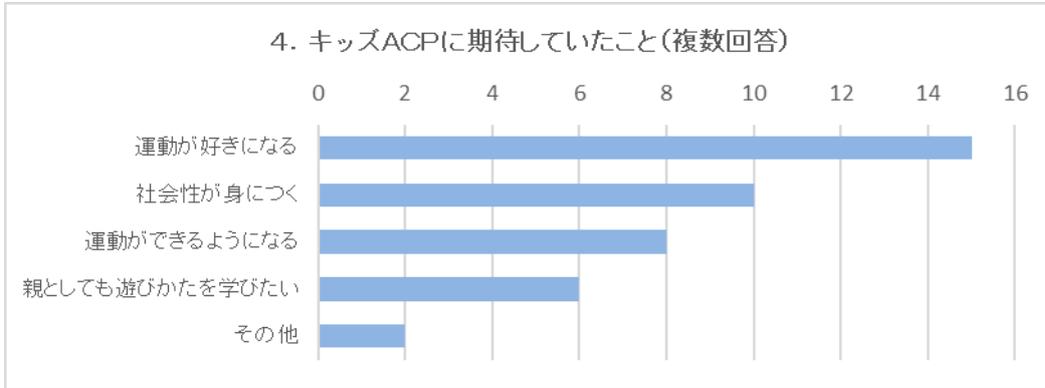
○身近なものを使って子どもたちが楽しめる運動遊びをいろいろ教えてくださってとてもいいと思った。

○家でもできることが多く、勉強になった。



(3) ACP への期待

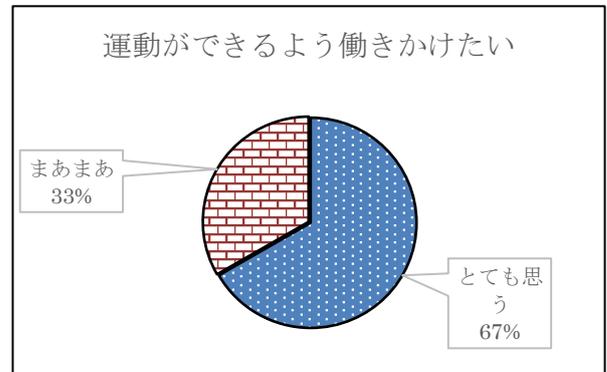
下のグラフのように、「運動が好きになること」「社会性が身につくと」がこのACP教室への参加動機と言える。中には、親として、運動遊びを学びたいと答えている保護者があり、こうした保護者の参加を促し、地域での実施率を高めていきたい。



(4) 子どもへの働きかけ

運動遊びを経験することで、親として子どもへの働きかけが高まっているようにとらえられた。

右のグラフでも、約70%の保護者が運動の必要性を強く認識していることがわかる。ある保護者が、「専門知識がない親でも子どもに教えられる運動遊びを学べた」と答えているように、遊びを身近に感じることができたようだ。

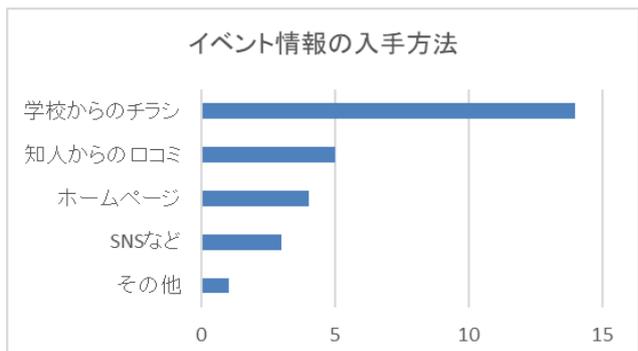


また、「恥ずかしがってなかなか他の子どもと一緒にできなかったが、持ち帰った風船やボールで弟と家で遊んでいたので、連れて行ってよかったと思いました」という感想があった。このような教室を行うと、集団に入れないう子どもが必ずいるが、時間や回を重ねるごとに、子どもたちの輪に入ることができることが多い。教室に参加する子どもの親の願いを始めに把握しておくことも必要ではないかと思われた。

「7歳の子は楽しそうだったが、4才の子はジャンケンがわからず、やりたがらなかった」という感想もヒントになるが、前述のことに関連するが、初回に保護者アンケートを行い、子どもの発育・発達の状態を指導者が把握して、一斉指導にするのか、グループ指導にするのか、その後の指導案に反映させていくことが求められる。

(5) 情報の収集

こうした教室の情報をどのように入手しているのかを回答していただいた。最近、SNSなどのスマートフォン情報が主流かと予想していたが、チラシの効果も大きいこともわかった。





△ だるまさんが〇〇



△ ドカンジャンケン



△ 大根抜き

(6) 今後の課題と取組

子どもたちの遊びの現状は、右のグラフでもわかるように、週に3回が約3割であり、多くの子どもたちが遊ぶ機会をもっていないと言える。「家にいるとTVやYouTubeばかりなので、人とのふれあいもなく、運動もしないので、子どもらしくしっかり遊んでほしい」との思いを書いてくださった保護者もいた。さらに、「運動することの楽しさが伝わったと思う。スポーツ少年団だと親の負担が大きい、この教室だとそれがないのでいい」という意見も見られた。親としては、遊ばせたり、運動させたりしたいが、なかなか思うようにならない実態があるようだと思われた。

この事業の1年目である令和3年度は、コロナの関係で開催を制限されたが、今年度は予定していた10回開催となり、事業を完了するところであるが、次第に手伝ってもらえる保護者も増えてきたことも考慮し、来年度も継続し、かつ、開催曜日を日曜日にして、地域スポーツ指導者の拡大を図りたい。

(文責：生涯スポーツグループ 和田康夫)

